

## スタッフインタビュー③

D. T

- ・ 建造物分野
- ・ 2010 年入社、2023 年再入社  
／中途採用（キャリア採用）
- ・ 理工学部建築学科 卒



### 点がつながり線となる

学生時代には意匠専攻で建築設計を学び、アトリエ建築設計事務所にて住宅や公共施設の計画や設計を経験した後に、営業の経験を積みたいと考え、展示会の企画営業に飛び込みました。建築と展示会という時間軸の異なる仕事に触れたことで、未来に残る仕事がしたいという想いを強く持つようになりました。縁あって当社に入社し 10 年ほど専門性の高い文化財保存修理技術者としてキャリアを積みました。その後、さらに視野を広げ、多くの人を巻き込みながら物事を動かせるようになりたいと思い、当社を一度退職し、建築のプロジェクトマネジメント（以下 PM）の世界に飛び込みます。

PM では文化財の世界と異なり、10ha 規模の巨大プロジェクトに関わり、事業性をデザインし、人と物事を動かす仕組みを考えるようになります。提示された仕様や条件で業務を遂行する設計とは違い、事業者のパートナーとして同じ視野をもち、事業を創造して推進する実行力を培いました。

しかし、ずっと心の片隅で文化財の仕事のことが忘れられませんでした。どんなに大きく革新的な仕事に関わっても、過去と現在そして未来をつなぐ文化財ならではの仕事には、魅かれつつけていました。そして、2023 年に再入社を果たすこととなります。

私のような多様な経験をもっている、文化財や歴史に対して理解があれば、寛容な土壌がある点も当社の魅力です。様々な知見を得て、バージョンアップした自身の能力や経験を当社に還元していくつもりです。点が線になる、という言葉がありますが、これは狙うものではなく、引き寄せるものだと思っています。人や環境との縁が引き寄せるのです。そんな化学反応を起こせる環境が、当社にはあるのではないかとと思っています。

### 世界の本質と向き合う

向き合いたい魅力が文化財の世界にはあります。歴史というと、退屈な学校の授業を思い返してしまいましたが（個人的な感想です）、実はとてもエキサイティングで唯一無二なストーリーと知見が含まれているものです。歴史を知る行為は、100 年単位の遠い過去から未来に向けて、自分たちが生まれたこの世界と向き合う体験だと思っています。ここ数年で、世界はもの凄いスピードで変化をとげています。どんなにテクノロジーが進化しても、人間の本質が大きく変わることはありません。大局観をもって世界と向き合い、未来を志向することこそが、文化財に関わる仕事の本質だと思っています。

### 文化財の可能性を切り拓く

文化財の本質的な価値は大きく変わりませんが、社会の変化にともない、文化財をとりまく環境は

常に変化します。私は 2010 年入社時から一貫して、文化財も建物である以上、活用して初めて、その価値を発揮し、保存に繋げることができると考えてきました。そのような考えのもと、現在は大きく 2 点の取組みを進めています。ひとつは前職の経験を活かし、文化財を対象とした PM の実践です。

例えば、都内に所在する江戸期の民家で、所有する自治体と共に公民連携事業を検討中です。文化財建物の維持管理には莫大な経費（税金）が必要です。民間提案で今の時代に則した活用方法を実践し収益を確保することで、財政負担の軽減と持続的な文化財の維持管理という課題解決を目指しています。補助金だけにたよる従来型の文化財保存から一歩先を見据えた事業です。

大切なのは、文化財保存修理の専門家としての「モノをみる力」、それに活用を実践する提案型マネジメント、この両輪が動くことで文化財の新たな可能性を切り拓いてゆくことです。

もうひとつは、文化財のデジタル化です。時代の変化の中で、やむを得ず失われいく文化財が多いことも事実です。デジタル化を行う事で新しい形の保存と活用の在り方を協力企業と共に取り組んでいます。

### 寛容で多様な企業風土

退職したり再入社したり、戻ってきたと思えば、未知の動きで新しいことを始めている私を受け入れる寛容な企業風土があります。筋が通っていれば会社が社員の挑戦を阻むことはありません。大切なのは、文化財をとおして社会に価値を提供していくという姿勢です。その大義名分に揺るぎがなく、目の前の顧客と課題に誠実に向き合っていれば、会社は社員の味方です。

そして、様々な専門性やバックボーンをもつ社員が集まっています。多様であるからこそ偏りがなく、フラットな企業風土だと思います。どんな仕事でも同じですが、できない理由を探すのではなく、できる方法を考えることが大切です。そして、「ワクワク」を生み出すのは自分自身に委ねられていると思っており、それを受け入れる事ができる会社だと思っています。

### 仕事もプライベートも全力

求められることをしっかりできていれば、柔軟な働き方が可能です。自らベストなコンディションを保つことに努め、決めた時間内に結果を出すよう心がけています。私は音楽が好きなので年中ライブ



ブやフェスに行き、心と頭のコンディションを整えています。好きなことをやる事は、脳への栄養補給だと思います。趣味を通して視野が広がる事もありますし、なによりも感情を動かすことが大切だと感じています。仕事にワクワクを覚えるのも感情の力ですし、人を動かすのも感情の力です。人を動かすことができれば、事業を動かすことができます。結果として、仕事の成果にも結びつくと考えています。